当社製品の利用状況

登録ユーザーアンケート調査結果（概要）

事業開発部　主任

鈴木 良夫

目次

[調査の概要 1](#_Toc355417423)

[調査の目的 1](#_Toc355417424)

[調査の内容 1](#_Toc355417425)

[調査結果の概要 2](#_Toc355417426)

[回答者の内訳 2](#_Toc355417427)

[所有している製品について 2](#_Toc355417428)

[製品の評価 3](#_Toc355417429)

[製品への期待 3](#_Toc355417430)

# 調査の概要

## 調査の目的

現在までに発売されている当社製品の利用状況を把握し、今後当社が力を注いでいくべき分野を探るとともに、ユーザーの当社製品に対する評価及びユーザーの当社に対するニーズを分析し、より魅力的な新製品開発に向けたヒントを得る。

## 調査の内容

### 調査方法

当社Webサイト上でのアンケート調査。

調査対象者全員に案内メールを送信し、アンケートページに誘導[[1]](#footnote-1)。

### 調査対象

ユーザー登録済みの当社製品ユーザー1,347,285人。

### 有効回答数

287,653人。有効回答率：21.4％。

### 調査実施期間

アンケート依頼メール送信日：2012年12月1日・2013年1月20日[[2]](#footnote-2)

アンケート回答受付期間：2012年12月1日～2013年1月31日

集計・分析期間：2013年2月1日～2013年3月31日

### 質問内容

所有している製品の種類とその評価。

当社製品に期待すること。

# 調査結果の概要

## 回答者の内訳

全回答者数は287,653人で、うち男性が124,239人、女性が163,414人。

年代別構成比は、「20歳未満」5.4％、「20～29歳」28.2％、「30～39歳」31.5％、「40～49歳」18.7％、「50～59歳」9.5％、「60歳以上」6.7％となっている。

（単位：千人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ～19歳 | 20歳～ | 30歳～ | 40歳～ | 50歳～ | 60歳～ | 全体 |
| 男性 | 12 | 44 | 43 | 26 | 16 | 11 | 129 |
| 女性 | 13 | 46 | 56 | 37 | 21 | 18 | 168 |
| 全体 | 20 | 86 | 95 | 58 | 32 | 24 | 292 |

## 所有している製品について

所有している製品の種類は、「テレビ・映像機器」が48.7％で最も多く、以下、「PC・PC周辺機器」31.6％、「カメラ・ビデオカメラ」28.6％、「電子端末・電子辞書」19.2％、「オーディオ機器」12.6％、「その他」5.8％の順となっている[[3]](#footnote-3)。

所有傾向を年代別に見ると、「テレビ・映像機器」は特に30歳代で多く、20歳代がこれに次いでいる。また、「PC・周辺機器」や「カメラ・ビデオカメラ」、「オーディオ機器」は、年齢層が高くなるほど所有率が低くなる。一方、「電子端末・電子辞書」については、全年齢層で同程度の所有率となっている。

（単位：千人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ～19歳 | 20歳～ | 30歳～ | 40歳～ | 50歳～ | 60歳～ | 全体 |
| テレビ・映像機器 | 8 | 42 | 53 | 29 | 24 | 10 | 145 |
| PC・周辺機器 | 12 | 34 | 31 | 24 | 9 | 7 | 95 |
| カメラ・ビデオカメラ | 9 | 26 | 34 | 23 | 10 | 7 | 87 |
| 電子端末・電子辞書 | 14 | 23 | 14 | 12 | 10 | 9 | 60 |
| オーディオ機器 | 13 | 20 | 12 | 8 | 5 | 5 | 41 |
| その他 | 8 | 12 | 7 | 6 | 6 | 5 | 21 |
| 全体 | 42 | 134 | 129 | 80 | 43 | 21 | 426 |

## 製品の評価

所有している製品についての満足度としては、全体的には「（ほぼ）満足している」62.8％が、「（やや）不満」の28.3％を上回った。製品種類別に見ると、特に「カメラ・ビデオカメラ」で「（ほぼ）満足している」が92.1％と圧倒的で、全体の「満足」の割合を引き上げている。逆に「（やや）不満」の割合が多かったのが「電子端末・電子辞書」の48.5％で、「（ほぼ）満足している」の47.6％と拮抗している。

## 製品への期待

種別ごとに尋ねた当社製品に期待することとしては、特に「テレビ・映像機器」と「オーディオ機器」で、「インターネット、クラウドとの連携」が多数を占めた。この点では、先にアナウンスを行った当社のコンテンツ配信事業についての期待と関心の高さもうかがえる。

一方、「電子端末・電子辞書」では、ネットとの連携強化よりも、むしろ使いやすさの向上に対するニーズのほうが高かった。これは、この製品種別のユーザーの年代が幅広い層に渡っていることとも関係していると思われる。

1. 回答者には謝礼として5ポイントを付与。 [↑](#footnote-ref-1)
2. 1月19日までに回答のなかったユーザーにのみ送信。 [↑](#footnote-ref-2)
3. この設問は複数回答。 [↑](#footnote-ref-3)